

初の国際学会を経験して

生命体工学研究科生体機能応用工学専攻M1 大和 史典



はじめに

平成26年12月4日～8日にかけて国際学術研究会 ISCHE 2014 への参加、および九州工業大学との提携校である UPM (University Putra Malaysia) での見学ツアーへ参加しました。

亜熱帯地域へ

4日の早朝よりシンガポールを経由し、学会の開催地であるクアラルンプールへ到着しました。シンガポール、マレーシアは亜熱帯に属する地域です。空港に降り立った時点で気付いたことですが、12月初旬冬

教的な背景を学びました。

ISCHE 2014

12月6日、今回の海外渡航の目的である国際学術研究会 ISCHE 2014 にて研究発表を行いました。

今回の学会を経験して英会話を含めて、プレゼンテーション能力の乏しさが課題であるということを感じました。学会での発表は英語で書いた原稿を暗記することで乗り切ることができましたが、その時点で理解できていた英語はあくまで発表スライド上と発表原稿の内容に過ぎず、質疑応答の時間では審査を行う先生方からの質問を受けても日本語での解答は思いついても、英語で何と答えていいか分からず、返答に窮してしまいました。

自身の発表を終えた後、ポスターセッションで他の発表者の研究内容を聞く機会がありました。発表を聞いても発表内容を理解することに手一杯で英語で質問を返すことはできませんでした。また、研究とは関係のない雑談であつても相手への聞き返しを求めることが多くなつてしまい、スムーズに会話を進めること

謝辞

この度、いただきました奨学金無くしては海外への渡航、宿泊等を含めて日本では経験したことのない異文化の環境へ置くという経験は得難いものであつたと思います。

国際学会への参加という貴重な経験を得る機会を与えていただいたことを、この場を借りて深く感謝いたします。

(平成27年1月記)



写真① UPM キャンパス内にて